

# 令和4年度事業計画書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

当財団は、令和2年度から令和6年度まで、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館の管理運営に係る指定管理者の指定を受け、優れた舞台芸術作品の提供や、県民の芸術文化活動の支援に関する取組及び、地域の核としての賑わいを創出する事業を実施している。

また、経営に関する改革にも取り組み、新たに財団のミッション・ビジョンを次のとおり定めた。

## 【ミッション】

「Art for Life - すべての人生に芸術を - 」

## 【ビジョン】

「アートでつなぐ - 人・地域・世界 - 」

- (1) 世界に通用する舞台芸術を創造・提供する
- (2) 県民に対し満足度の高い芸術文化活動の実践の場を提供する
- (3) 社会や地域の課題に対し芸術文化活動を通じてその解決に貢献する

令和4年度は、これらのミッション・ビジョンを達成するため、下記の事業展開戦略に基づき、これまで培ってきた実績と経験を最大限に活用しながら、県内における芸術文化の一層の振興と、真に豊かさゆとりを実感できる県民生活の実現に向けて取り組んでいく。

また、令和4年4月から彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督に就任する近藤良平氏のもと、演劇・舞踊・音楽の枠を超えたジャンル・クロス作品の公演やオープンシアター等の事業を通じ、次代の芸術表現を果敢に切り拓く創造拠点として、また社会や地域により開かれた広場として、あらゆる人が自由闊達に交わりアートを創造・発見する劇場を目指していく。

新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き感染症対策を徹底の上、新しい生活様式を踏まえた安心・安全な運営を行っていく。

## 《事業展開戦略》

- (1) 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展
- (2) 質の高い貸館支援と利用者層の拡大
- (3) 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進
- (4) 芸術実践・鑑賞層の拡大

## 1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

### (1) 自主企画公演等及び国内外との交流（50事業）

当財団の事業展開戦略を踏まえ、次の自主企画公演等を実施する。また、他施設や他団体とのネットワークを活用して、共催事業を実施する。

#### ア 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展（9事業）

- ・国内外からの埼玉県のアート文化への評価を高めるため、芸術性の高い舞台芸術作品や様々な分野のアーティストとの協同による新たな芸術領域の作品などを創造し、国内外へ発信する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>舞踊</b> デイミトリス・パパイオアヌー 『TRANSVERSE ORIENTATION』	6月	芸術劇場 大ホール	ギリシャを代表する振付家デイミトリス・パパイオアヌーの新作公演（国際共同制作）を上演する。ロームシアター京都へのツアー公演も行う。
<b>クワッシュ</b> ジャンル・クロスⅡ 近藤良平×松井周 『導かれるように間違え』	7月	芸術劇場 小ホール	近藤良平芸術監督が掲げる指針の一つであるジャンル・クロスに挑む。演劇×コンテンポラリーダンスによる作品を提供する。劇作家・演出家の松井周による新作書下ろし、近藤が演出・振付を担う。
<b>舞踊</b> さいたまダンスラボ ラトリ企画 岡田利規×湯浅永麻 『わたしは幾つものナラティブのバトルフィールド』	9月	芸術劇場 小ホール	劇作家・演出家の岡田利規と、ダンサー・振付家の湯浅永麻によるコラボレーション企画。2021年3月にワーク・イン・プロGRESSとして発表した作品を引き続きクリエイションし発表する。
<b>演劇</b> 彩の国シェイクスピア・シリーズ 『ヘンリー八世』 （再演）	9月	芸術劇場 大ホール	シェイクスピア全37作品の上演に挑む「彩の国シェイクスピア・シリーズ」。2020年にコロナ禍で4公演中止となった作品を再演する。英国王ヘンリー八世を題材とした歴史劇。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>音楽</b> クロノス・クアルテット「ブラック・エンジェルズ」	9月	芸術劇場 大ホール	弦楽四重奏団クロノス・クアルテットの19年ぶりの来日公演。1970年当時のベトナム戦争にインスパイアされたジョージ・クラム「ブラック・エンジェルズ」をメインとしたプログラムを披露する。
<b>音楽</b> NHK交響楽団 アレクサンダー・リープライヒ（指揮）、 小菅優（ピアノ）	10月	埼玉会館 大ホール	NHK交響楽団による演奏会。指揮はプラハ放送交響楽団首席指揮者アレクサンダー・リープライヒ、ソリストにはピアニストの小菅優を迎え迫力あるオーケストラの生演奏を提供する。
<b>舞踊</b> マギー・マラン 『MayB』	11月	埼玉会館 大ホール	振付家マギー・マランが国際的な評価を得るきっかけとなった代表作で40年を経た今でも色あせることなく世界中で上演を続ける『MayB』（1981年初演、日本には1986年に初来日）を上演する。
<b>音楽</b> バッハ・コレギウム・ジャパン ベートーヴェン 「第九」	12月	埼玉会館 大ホール	バッハ・コレギウム・ジャパンによる毎年度恒例となった彩の国さいたま芸術劇場公演。令和4年度は劇場休館に伴い埼玉会館にて公演を行う。教育的プログラムとして、公演に先駆けて関連レクチャーも開催する。
<b>演劇</b> 吉田鋼太郎演出作品	2月	埼玉会館 大ホール	彩の国シェイクスピア・シリーズ2代目芸術監督吉田鋼太郎演出作品を上演する。

#### イ 芸術実践・鑑賞層の拡大（34事業）

- ・次代の舞台芸術を担う人材の育成を図るため、若手ダンサーや演奏家、落語

家等を起用した公演を実施するほか、演出家、振付家等による創作や発表の場を提供する。また、大学等と連携し、当劇場の職員が講師を務める講座等を実施する。

- ・芸術文化への関心を高め、裾野の拡大を図るため、良質で親しみやすい公演や県内学校と連携したアウトリーチ事業など、多様なニーズに配慮した事業を実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クロスिंग</span> ジャンル・クロス I 近藤良平 with 長塚圭史『新世界』	4・5月	芸術劇場 大ホール	近藤良平芸術監督と KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督 長塚圭史による企画。ダンサーや俳優の他、サーカスアーティストやミュージシャンなど他ジャンルの多彩なアーティストを迎えて実施する。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">演劇</span> ノゾエ征爾演劇ワークショップ	4・5月	芸術劇場 小ホール	ノゾエ征爾の脚色、演出でシェイクスピア作品を題材とした新作を若手俳優とともに創作するワークショップ及び発表会を行う。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">音楽</span> みんなのオルガン講座	5～9月	芸術劇場 練習室	パイプオルガンの仕組みを理解し、実際に触れてみる初心者向けのレクチャー、鍵盤楽器経験者等を対象にした「基本コース」及び基本コース修了生対象の勉強会を行う。 (4事業)
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">音楽</span> 光の庭プロムナード ・コンサート	4～6月	芸術劇場 情報プラザ	土曜日の午後に入場無料で開催する40分間のコンサート。ポジティブ・オルガンを活用し、声楽や器楽とのアンサンブルを基本としたラインナップで構成する。(3事業)
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その他</span> 彩の国さいたま寄席	4・8・12 ・2月	芸術劇場 小ホール 埼玉会館 小ホール	名人から若手まで実力と人気を兼ね備えた出演者を、当劇場独自の視点でラインナップする落語公演を実施する。(4事業)

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>音楽</b> 林田直樹ナビゲート イレブン・クラシッ クス Vol.5	5月	芸術劇場 音楽ホール	平日の午前中に、気軽に本格的な音楽に触れるコンサート。さいたま市在住の音楽評論家、林田直樹氏による雑学レクチャーや演奏者とのトークなどを加えて構成する。
<b>舞踊</b> コンドルズ埼玉公演 2022 新作 『Starting Over』	6月	芸術劇場 大ホール	コンドルズによる埼玉スペシャル公演の15回目。ダンス、映像、生演奏、人形劇、コントをちりばめ、空間を縦横無尽に使いこなすコンドルズならではの新作ステージ。
<b>音楽</b> 埼玉会館ランチタイ ム・コンサート 第53回～第56回	6・10・2 ・3月	埼玉会館 大ホール	平日の昼に開催する、トークを交えたショート・プログラムによる気軽なクラシック・コンサートを実施する。(4事業)
<b>音楽</b> 大塚直哉レクチャー ・コンサート バッハ“平均律”前 夜～月明りのもと 書き写した楽譜たち～	7月	芸術劇場 音楽ホール	ポジティブ・オルガンを活用し、平成29年度より音楽ホールにて開催している「大塚直哉レクチャー・コンサート」を実施する。ゲストには羊皮紙研究家の八木健治氏を迎える。
<b>音楽</b> ユナイテッド・ユー ロ ブラス・クインテ ヲット	7月	芸術劇場 音楽ホール	名トランペット奏者として名高いラインホルト・フリードリッヒを中心とした、スーパープレイヤー達による金管五重奏団公演を実施する。
<b>音楽</b> ピアノ・エトワール ・シリーズ Vol.44,45	7・9月	芸術劇場 音楽ホール	平成19年度から継続するピアノ・リサイタル・シリーズ。若手で将来が嘱望される期待の実力派ピアニスト2名(三浦謙司、松田華音)を迎えて実施する。(2事業)

事業名	実施予定時期	会場	内容
舞踊 さいたまダンス・ ラボトリ企画 Vol.6	7・8月	芸術劇場 大ホール 舞台上	若手ダンサー・学生を対象としたワークショップを実施。講師は湯浅永麻を迎え、最終日に創作した作品発表を行う。
音楽 光の庭プロムナード ・コンサート 夏休みスペシャル	8月	芸術劇場 情報プラザ	夏休みに合わせた「光の庭プロムナード・コンサート」の特別企画。令和4年度は劇場オープンシアターの一環として開催する。
舞踊 日本昔ばなしのダンス 地方ツアー	2月	岡山市	親子を対象に、日本の昔話を題材としたダンス作品を制作・上演する人気シリーズ。2006年制作の『ねずみのすもう』（振付：近藤良平）及び2019年制作の『つるのおんがえし』（振付：山口夏絵）を岡山市内の劇場で上演する。
舞踊 日本昔ばなしのダンス （新作）	3月	埼玉会館 大ホール	親子を対象に、日本の昔話を題材としたダンス作品を制作・上演する人気シリーズの第7弾。日本の若手振付家による振付及び出演を予定。
その他 舞台技術講座	2・3月	埼玉会館 小ホール	県内高校生及び公立文化施設職員等を対象とした音響・照明・道具等の舞台技術に関する講座・研修会を行う。講師は財団の技術スタッフが務める。（3事業）
舞踊 MEET THE DANCE～ア ーティストが学校に やってくる！	通年	県内中学校	中学校の授業でダンスが必修化された中、プロの振付家、ダンサーによるダンス・ワークショップを県内中学校生徒を対象に実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
音楽 MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる！	通年	県内小・中学校	県内の小・中学校にプロの演奏家を派遣し、単なる受け身にとどまらない、気づきや発見を伴うプログラムで、生演奏の鑑賞機会を提供する。
その他 芸術監督トークシリーズ	通年		ジャンル・クロスをかかげる近藤良平芸術監督が注目する多彩なジャンルのアーティストを招き対談を行う。
その他 大学生インターンシップ	通年	芸術劇場 埼玉会館	将来の舞台芸術を担う人材の育成に資するため、県内及び首都圏の大学の学生を対象としたインターンシップを実施する。

ウ 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進（3事業）

- ・芸術文化を通して社会包摂の実現に貢献するため、子どもから大人まで、障がいの有無や国籍にかかわらず、多様な人々が芸術文化に参加できる公演等を実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 彩の国さいたま芸術劇場オープンシアター「ダンスのある星に生まれて2022」	8月	芸術劇場 大ホール ほか	近藤良平芸術監督プロデュースにより、親子や幅広い世代を対象に気軽に参加、鑑賞して楽しめるプログラムを劇場空間を活用した開放的なオープン・シアターとして実施する。
舞踊 パーキンソン病患者のためのダンス・プログラム	通年	芸術劇場 稽古場、 オンライン	パーキンソン病患者のために開発されたダンス・プログラムのワークショップをスターダンサーズ・バレエ団との共働で定期開催する。オンラインでの同時配信を予定。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 バリアフリー・セミナー	2月	埼玉会館 小ホール	障がい者の劇場体験や芸術参加を支援するために必要とされる知識を共有し、方法論や改善策を議論するセミナーを開催する。

エ 共催（4事業）

- ・本県の芸術文化の振興に寄与する芸術性の高い公演等を共催公演として実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
音楽 加藤訓子「META-XENAKIS ～クセナキス生誕100年を祝う」	5月	芸術劇場 小ホール	国際的に活躍する打楽器奏者、加藤訓子が長期的に取り組むクセナキス・プロジェクト。ダンスとのコラボレーションや音楽プログラムなど多様に展開する予定。
舞踊 Noism×鼓童『鬼』	7月	芸術劇場 大ホール	りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する公共劇場専属舞踊団Noism Company Niigataとの共催公演。新潟県佐渡市を拠点とするプロ和太鼓集団 鼓童とのコラボレーション作品等上演予定。
音楽 ピアノデュオ ドゥオール デュオ・セミナー創造の4日間 in 彩の国さいたま芸術劇場	8月	芸術劇場 音楽ホール	埼玉県在住のピアノ・デュオ、ドゥオールによるピアノ・デュオに特化したセミナー。間口を広げるため、より気軽に参加できる短時間のプレイベントを修了コンサートと同日に開催する。
演劇 マームとジプシー『cocoon』	9月	芸術劇場 大ホール	2020年にコロナ禍で中止となったマームとジプシーの代表作を上演する。太平洋戦争末期の沖縄戦に動員された少女たちに着想を得て創作された、今日マチ子の漫画の舞台化。



## (2) 企画展示・広報等

### ア 企画展示事業

彩の国さいたま芸術劇場内の情報プラザ、ギャラリー等を活用し、財団主催事業の紹介や舞台芸術への関心を高めるための企画展示を開催する。

### イ 財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行

財団の会員「メンバーズ」の拡大とチケットの販売促進に効果を上げるため、財団の主催する公演や活動内容を紹介する情報誌を発行する。

(ア) 発行回数、部数 年6回 各12,000部発行

(イ) 配布先 財団メンバーズ、サポーター会員、マスコミ、プレイガイド、県内文化施設など

### ウ メンバーズ事業

主催事業のチケットの優先予約や割引販売などを行うことにより、顧客の定着化と拡大、チケットの販売促進を図る。

会員数 4,280人(令和4年2月末現在)

### エ サポーター会員制度の運営

財団の活動に対し支援いただく法人等の会員組織「サポーター会員」の運営を行うとともに、会員の拡大を図る。

サポーター会員数 117社(者)(令和4年2月末現在)

## (3) 資料収集

演劇、舞踊、音楽、映画等の分野に関する書籍、CD、DVD等を収集するとともに、当財団自主企画事業の記録映像を含めた公演資料の適切なアーカイブ化を図り、彩の国さいたま芸術劇場の舞台芸術資料室において公開する。

## 2 芸術文化活動の場の提供等に関する事業

芸術文化活動の拠点施設として、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館について、各施設の持つ機能を効果的に活用して施設貸与を実施する。

### (1) 彩の国さいたま芸術劇場

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、稽古場、練習室等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努めるほか、施設の空き情報の提供などを行い、利用率の向上に努める。

また、ホームページを活用し、わかりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、公演チラシ掲載による貸館公演の広報支援など、サービスの充実を図る。

さらに、地下のロビー等共用スペースに公衆Wi-Fiを導入し、利便性向上を図る。

## (2) 埼玉会館

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、会議室、展示室等が十分に活用されるように、会議室では時間無制限でつながることができるWi-Fiを導入し、このコロナ禍でネット会議を確実にできる環境を整え、利用者サービスの向上に努める。

また、施設の活性化と利用促進のために大型催事の誘致を行うほか、施設の空き情報の提供、SNSによる情報発信等を行い、利用率の向上に努めるほか、ホームページ及び、浦和の地域情報サイト『まいふれ浦和』に掲載して、わかりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、貸館公演の広報支援など、サービスの充実を図る。

## 3 芸術文化に係る事業を推進するための付帯事業

芸術文化に係る事業を推進するために、次の付帯事業を実施する。

### (1) 各種の活動及び発表の場の提供

埼玉会館において、芸術文化活動以外の講演会、講習会及びその他の催し物等について施設の貸与を行う。

### (2) 駐車場及びレストランの運営

施設利用者の便宜を図るため、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館において有料駐車場を運営する。

また、各施設内のレストランを運営することで、利用者へのサービス向上や賑わい創出を図る。埼玉会館では、レストラン事業者と連携し、会館施設を有効活用したパーティーやウェディング等の利用者サービス拡大を図る。

### (3) その他公益目的事業の推進に資する事業

施設利用者の便宜を図るため、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館において自動販売機及びタクシー電話を設置する。また、施設内及び敷地内での写真や動画の撮影等を受け入れる。

### (4) 埼玉会館のブランディング事業

全国に誇れる価値をもつ埼玉会館の歴史と建築を発信するため、ブランディング事業を行う。セミナーやボランティアによる建物ツアーの開催など前川國男氏が設計したモダニズム建築（「前川建築」）である埼玉会館の多彩な魅力、特徴を様々な角度から知ってもらうことで、ブランド化による更なるイメージと認知度のアップを図る。

#### (5) 賑わい創出と活性化のための共催・連携事業

彩の国さいたま芸術劇場では、さいたま市や地元の団体と連携し、地域の活性化を図る。「彩の国シェイクスピア・シリーズ」の出演者の手形レリーフを設置するさいたま市アートストリート事業や、地元の各種イベントとの共催事業を実施する。

埼玉会館では、高い芸術性や話題性のある事業を障がい者アーティストと連携し主催するほか、美術と街巡り・浦和実行委員会や障がい者団体などと共催し、埼玉会館を拠点とした活動や発信の場を広げる。また、地域社会との連携により、町内会のお祭りへの協力、商店会と合同での「県庁通りイルミネーション」の設置、財団自主事業の観客に対し地元商店の協力を得て各種サービスの提供を行う。さらに、国や県が推進する啓発事業等と関連したライトアップの取組にも積極的に協力していく。

#### (6) 広報事業

財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行や近隣施設への公演チラシの配架依頼、ホームページの充実や各種SNSによる積極的な情報発信を行い、幅広い層に財団の事業、施設をPRする。